



# 国鉄新潟

No.1080  
 発行  
 2022年  
 8月31日  
 国鉄労働組合  
 新潟地方本部  
 発行責任者  
 清野 聡  
 編集責任者  
 教 宣 部

## コロナ禍での開催

国労東日本本部・第36回定期大会が8月20日東京・新橋交通ビルで開催しました。  
 コロナ感染の急拡大で東京地本以外の地方はリモートでの出席となりました。

### 経過・方針について 15名が発言

資格審査より、8時半現在在代議員・25名中21名の出席を確認し成立しました。



## 国労東日本本部 第36回定期大会開く

### 渡辺副委員長 開会あいさつ

定期大会は、9時に開会、代議員から経過で4名、方針で11名の発言がありました。  
 発言内容は、職場の労働条件・組織拡大・春闘・会社の組織再編について意見が出されました。



### もうひとりの仲間を増やす

「コロナの感染拡大の中での開催となり東京地本以外はリモートでの出席となった。政治状況では憲法9条改正の動きが強まっている。憲法9条の重要性を訴えていく。JR東日本は大改革を強行し社員の



柔軟な働き方を提案し、職場は混乱が続く、早期退職が増えている。組織拡大、職場の労働条件改善に向けて全力で取り組み、もうひとりの仲間を増やしていこう」

### 議長団の選出 深谷代議員・竹村代議員

議長団では、いずれも東京地本で議長に深谷代議員・副議長に竹村代議員がそれぞれ選出されました。

その後、伊藤委員長のあいさつ・国労弁護団からあいさつがありました。

## 経過について発言

### 通勤距離が長くなった

●盛岡地本へ働き方について・ダイヤ改正から制度改正となった。3月から新幹線通勤が可能となったが、これは国労が要求してきた。新幹線通勤が利用できない区間がある。なぜ利用できないか現場管理者から丁寧な説明がされない。  
 ●統括センターの発足で通勤距離が長くなる。この問題について他労組を巻き込んで取り組んでいる。まだ、拡大に結び付いていないが取り組みを継続している。

### ●7月23日(土)津南まつりが3年ぶりに開催されました。

今回、初めてでした、会場は津南町役場の駐車場で大きなステージがありました。6月に津南町に行った時「蔵カフェ」のスタッフの方々が、ぜひ祭りが開催されるので来てくださいとそれで行くことにしました。

写真は、津南町・「龍神太鼓」が演奏されました。

子供たちの力強い和太鼓演奏で、会場は盛り上がっていました。

そして、会場には出店があり、飲み物やいろいろ販売していました。出店には「蔵カフェ」が出店していて、生ビールを販売していたのでたのみました。飲みながらいろいろなステージ出し物を見ながら楽しいひとときを過ごしました。



●組織拡大について・5年ビジョンなどは財政的に厳しくなる。組合員が点在化しリモートの活用化についてエリア本部の考えは？  
 ●アンケート調査は他労組も協力してくれた。  
 ●JR採用者の国労組合員がひとりになり、この組合員を中心に運動が求められている。

### 国鉄採用者が定年

●千葉地本では、組織について・現在の組織人員は250名、国鉄採用者が定年を迎える。42分会から27分会となった。

分会活動を組織的に取り組み、集会、大会の開催、機関紙の発行なども進めいる。5年後を見据えた組織対策委員会を開催する。

地本大会で規約改正し現状に見合った柔軟な対応をしていく。職場単位地域分会とし、従来からの運動を継続していく。

### 本体エルダーが必要だ

●組合員数の減少から、貨物・東日本とも現場での世代交代が発生している。外注化・委託化(駅)など、技術継承を考えると本体エルダーが必要だ。

エルダーは出向が基本なので本人の希望通りにならない。出向先では仕事内容について合わないことから退職へ追い込まれて人もいる。エル



ダー制度の変更・本体に残すこと。

### 運動方針について みんなの発言

#### 賃金が減って 厳しい生活実態だ

●東京地本より自動車職場・乗務員よりコロナ感染拡大でバスの運行が休止、賃金が減って厳しい生活実態だ。

少しづつ高速バスの運行が戻ってきた。他社との競争が激化している。職場では、国労組合員は5名がエルダーで現職は1名だ。組織拡大は難しいが労働条件改善に向けて取り組み、拡大につなげていく。

現在、2等級者は現場で試験が行われ、5等級から支社で行われる。賃金は55歳以上から減額の制度が残っている。試験制度の改正、見直しを求める。

### 最低1名の選出を

●仙台地本より駅業務で、みどりの窓口の閉鎖は利用者にとって不便になる。街頭宣伝行動など展開し訴えている。

地方ローカル線廃止反対の取り組みを強化していく。

規約改正・代議員の選出について各地方から最低1名選出しなければ地方の意見が反映されない。

●春闘について、貨物は抗議行動など実施しているが東日本はやってい



●8月20日、国労東日本本部の定期大会でリモート出席で地本事務所に居たときでした。笛と和太鼓の音が聴こえてきたので外へでましたら・・・山車が事務所前を通ってきました。

ビックリしました。地元・新津まつりが開催していたので、各町内の山車が新津の街中を通っていたのでしょうか。各町内には7台くらいの山車があるそうです。

新津まつりも3年ぶりの開催です。山車も久しぶりだったでしょう。

●この前、旧分水町に行った時、偶然、山車を見させていただきました。町では3台の山車があるそうです。この日は、山車の修理で業者の方や燕市の方？居て、いろいろ説明を受けました。



8月が終わろうとしています。猛暑が続いていましたが、急に気温が下がりました。急に、涼しくなりました。身体が、この気温差でついていけません。そろっと夏の疲れが出てきています。

しかし、コロナ感染が急拡大しました。なかなか収まりません。「ちよつといつぶく」ですが、記事が書けません。現在、自粛中です。

いろいろ行きたいところがいっぱいありますが、これでは駄目ですね。



### ワンマン運転・自動運転化 宣伝行動で訴える

●東京地本より駅業務で定年延長し70歳まで雇用を希望していたが駄目だった。再雇用制度や出向発令について改善を求める。

エルダーの再雇用者への功労金について退職金として課税されないようにして欲しい。

るのか。ストライキの要請をしているが、なぜストをしないのか。

●会社施策について・ワンマン運転の拡大や山手線の自動運転化について、この実態を調査し宣伝行動などで訴える。この問題について団交事項になっていない、現場対応になっているが現場管理者は説明ができていない状況だ。

●組織の5年ビジョンについて・今後役員体制など世代交代の時期に国労運動の継承を引き継いでいかなければならない。

●春闘について・他労組は定期昇給が実施されほつとしている。国労として春闘や夏季手当の闘いを含め運動を展開し力を入れた取り組みにしていかなければならない。アスベスト対策、裁判の支援を。

○続きは次号に記載します。

